

2004年度 Block. 6

課題 No. 2

課題名：子どもはできたけれど



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

A子さんは28歳、結婚して1年になります。そろそろ子どもが欲しいと思っています。でも生理も不順のため、思いきって病院に行きました。

【抽出を期待する事項】

- 結婚して1年、子供が欲しい ⇒ 挙児希望がある（不妊症ではない）  
⇒ 不妊症の定義(A-3)
- 生理不順 ⇒ まず正常月経（排卵周期）の調節機序とは何か(A-1)  
⇒ 月経異常の分類(A-2)

シート2

いろいろな検査をしたところ、「きちんと排卵していませんね。お子さんをお望みなら今度から専門外来に通院した方が良いですね」といわれました。次回の外来で詳しく説明があるとされました。

教材 1.基礎体温表（正常月経周期と排卵障害）

【抽出を期待する事項】

- いろいろな検査  
⇒ 産婦人科の一般的診察、月経異常・排卵障害の検査方法(B-1)、  
基礎体温表(A-4)、不妊症の原因検査 (B-2)
- 排卵障害 ⇒ 排卵障害の病態(B-1)  
専門外来に通院 ⇒ 排卵障害の治療法(B-1)、不妊症の原因検査、治療(B-2)(C-3)  
(次回の外来で詳しく説明する ⇒ 学生に医師と患者さんという設定で  
ロールプレイをしてもらう。)

シート3

通院を始めて1年。いろいろな薬を使ったけど、今は毎日注射に通院したり、超音波検査をしています。予定の時期に月経にならず1週間ほど過ぎ、病院に行き、いろいろな検査をしました。

教材 2. 排卵時の超音波検査所見（正常排卵時と排卵誘発時）

【抽出を期待する事項】

- 通院開始後1年経過 ⇒通院していても妊娠までに時間がかかることを理解(C-5)
- いろいろな薬・連日注射・超音波検査（教材2）⇒不妊治療の内容・方法(C-3)
- “予定の時期に月経にならず”

⇒続発性無月経の診断(A-2) 妊娠を診断する際の最も一般的な主訴。(A-5)

- “1週間ほど過ぎ” ⇒妊娠約5週である
- “いろいろな検査”、妊娠 ⇒妊娠の診断（基礎体温、尿中hCG検査、超音波検査（教材3））子宮外妊娠の否定まで。(A-5)

シート4

いろいろな検査のあと、担当医に「おめでとうございます。ご妊娠ですね。」といわれ、とても嬉しくなりました。しかし、近頃やけにウエストがきつくなり、尿も出にくい気がします。

教材 3. 妊娠ごく初期の超音波写真（子宮内に胎のうのみ確認）

【抽出を期待する事項】

- “いろいろな検査”、妊娠 ⇒妊娠の診断（基礎体温、尿中hCG検査、超音波検査（教材3））子宮外妊娠の否定まで。(A-5)
- “ウエストがきつい。尿が出にくい”  
⇒卵巣過剰刺激症候群;OHSS (Ovarian Hyperstimulation Syndrome) による卵巣腫大と腹水貯留を連想。(C-1)

さらに4週間後の健診時、「三つ子のようです。」といわれ、驚きです。また三つ子にもいろいろなタイプがあると言われました。妊娠ってただでさえ、いろいろな心配事があるってよく聞くのに、三つ子だなんて大丈夫かしらと心配になりました。早く小さく生まれるのかしら、私の身体は耐えられるのかしらと不安がつります。

教材 4. 妊娠9週の品胎の超音波写真(子宮内に胎のうが3つ確認される)

【抽出を期待する事項】

- “三つ子のようです” (教材4) ⇒ 品胎妊娠の診断(超音波検査での見え方)
- 三つ子のタイプ ⇒ 多胎妊娠の膜性診断(B-3)
- いろいろな心配事、早く小さく生まれる、身体が耐えられるか

⇒ 多胎妊娠の妊娠経過、生じやすい合併症(特に単胎妊娠と比較して)について考える(C-4)(C-5)

⇒ 妊娠中：母体合併症：切迫流産：超音波検査での子宮頸管長の計測、  
子宮頸管培養検査

妊娠中毒症

その他：胎盤異常(前置胎盤など)、貧血

胎児評価：Well-being(健常性)：NST、超音波検査

胎児発育：超音波検査

分娩時：早産(品胎：妊娠34週頃の帝王切開、

双胎：母児ともに安定していれば妊娠36週以降での分娩、

分娩方法は胎位や児の大きさなどによる)

NICU併設の分娩施設での分娩が必要

母体合併症：弛緩出血による分娩時出血多量、

妊娠中毒症：分娩後の肺水腫に注意

児：早産児でありNICUでの管理

妊娠 26 週となりました。同じ妊娠週数のお友達と比べると、お腹が目立ちます。担当医から「今のところ順調ですが、明日入院しましょう。入院したら赤ちゃんの元気さや大きくなっているかの確認、お母さんの状態の確認をしていきます。あと 2 か月位もすれば分娩ですね。三つ子なので帝王切開になります。」といわれました。

【抽出を期待する事項】

- 妊娠 26 週、お腹が目立つ

⇒ 単胎妊娠と比べて、子宮が大きいということに気づく(C-2)

- 品胎の管理入院

妊娠 26 週頃入院

管理内容としてはシート4 サマリー参照